

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020381

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	B		
単位施策	3	景観形成・環境美化・公害防止の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	戦没者慰霊碑等補修事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度		担当課	5 保健福祉課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	補修工事数		関係課	#N/A		
事業目標	補修工事1件		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	戦没者慰霊碑の古い文字が浮き上がり、点検した結果、脆弱性及び英霊名版が腐食しているため、補修工事を行う。		戦没者慰霊碑補修工事 英霊名版補修にかかる補助			
	事業費(千円)	1,175	0	1,175	0	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,175	0	1,175	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	その他	0				
	特定財源の名称 その他 遺族会費	【評価・実績】	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等) 戦没者慰霊碑補修工事 英霊名版補修にかかる補助  ※事務事業評価結果 A-継続/終了	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値		補修工事2件			
第6期計画への継続	年度達成率	#DIV/0!	100%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	100%	100%	100%	100%
	事業進捗状況		☆☆☆☆			

事業名	戦没者慰霊碑等補修事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	戦没者慰霊碑及び英霊名版	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	慰霊碑及び英霊名版の補修	
【抱える課題やニーズは】	慰霊碑倒壊の危険性及び英霊名版の腐食	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	戦没者慰霊碑及び英霊名版について補修	① 補修工事件数	目標年度	平成26年度
			目標値	1件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	慰霊碑については倒壊の危険性がなくなり安全が確保され、英霊名版については印字が明瞭になる。	② 補助実施件数	実績値	1件
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	補修工事の実施	戦没者慰霊碑の補修工事を実施した。		
	英霊名版補修に係る補助の実施	英霊名版補修を行う雄武町遺族会に対し、補修費に係る補助を行った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	平和と繁栄を築いた先人に対する追悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにすることと併せ、戦争の惨劇を後世に伝えるためにも必要な事業と考える。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	補修工事を実施したことで、危険性がなくなり安全が確保された。また、腐食した英霊名版の補修を行ったことにより見映えが良くなった。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	見積合わせを実施し適正価格で工事を発注した。英霊名版補修に係る工事費については遺族会にも負担願うこととし、工事費の一部について町が補助を行った。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	雄武町にゆかりのある戦没者を追悼する慰霊碑であることから公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり達成された。		

今後の展開方向  
(Action)

終了		
補修については、計画どおり達成したので終了とする。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止